

断乳のこと

最近、離乳期まで母乳を続けられ、断乳のことで相談を受けることが多くなりました。母乳が完全栄養食というだけでなく、赤ちゃんの精神面にも、お母さんの体にも良いということが理解されてきたのだと、嬉しく思います。

相談の主な内容は「一オケ月なのにおっぱいが大好きで寝るときなどぜんぜん離してくれません。我慢させた方が良いでしょうか。」などで、もっと飲ませたほうが良いのか、やめた方がいいのかお母さんたちの心は揺れ動くようです。

私は基本的に食事が朝昼夕と食べられるようになり、水分摂取が自在になれば断乳は可能だし、あまり焦らず一オケ月位までに断乳が出来れば良いと思っています。それを過ぎると甘えしゃぶりで離れにくくなる場合もありますが、そうなってしまったら無理に離そうとせず、話して分かるまで徹底的に飲ませてあげるのも一つです。

先日「私は二才まで飲ませていました」という今時珍しい方に出会いました。でも、その方のお子さんは普通の子供さんよりむしろ情緒が安定して感情も豊かなようです。また、虫歯もありませんでした。

お母さんの中には、他のお子さんと比較したり、保健所などの検診で何か言われると不安になって落ち込んだり小さくなっていたりする方がいます。

でも、自分のおっぱいをあげるのですから悲観することはありません。肌と肌を触れ合うことと共に愛情を注ぐのですから自信を持ちましょう。そして自分の分身である赤ちゃんが持つ抜群の適応能力を信じてあげてください。

ただ、母乳がたくさん出る時は排卵が抑えられてしまうので次のお子さんを早く授かりたい方や妊娠中の方は、お腹の赤ちゃんに栄養が行かなくなってしまうたり、吸われる刺激で流産を起しやすいため、この場合は早めの断乳をお勧めします。